

第4章 計画策定に関する調査・分析

1 公共交通に関する市民意識調査

(1) 調査概要

平成27年度に実施した公共交通に関する市民意識調査の概要は、以下のとおりです。

市民意識調査の概要

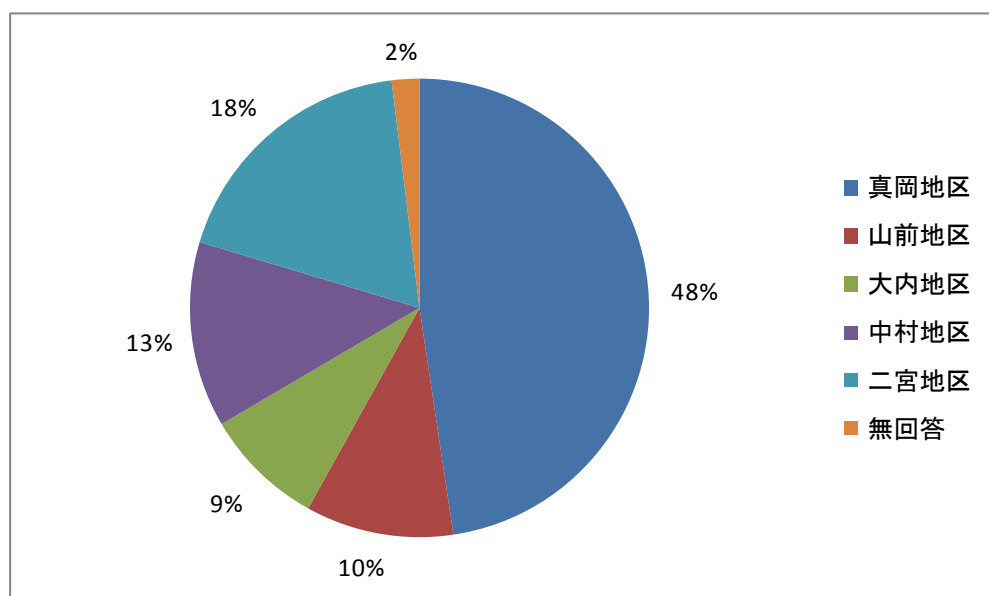
調査時期	平成27年8月
調査対象	市民2,000人（無作為抽出） 65歳未満：1,000人 65歳以上：1,000人
調査方法	郵送による配布・回収
回収数/配布数（回収率）	825票/2000票（41.3%）

(2) 集計結果の概要

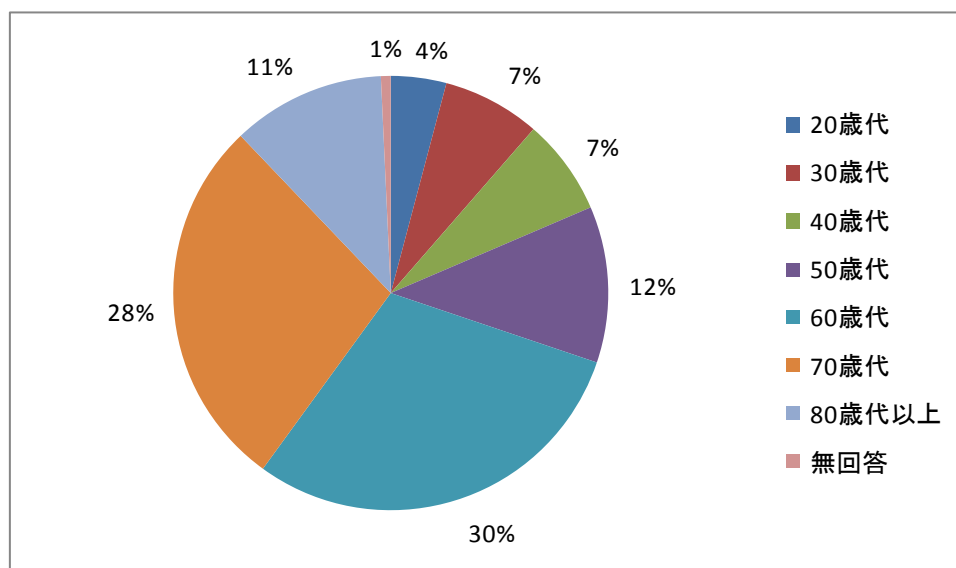
ア 回答者の属性

- ☐ 回答者の居住地区は真岡地区がおよそ半数、男女比はおおむね半数ずつとなっています。
- ☐ 年齢は高齢層が多く、70歳以上が約4割を占めています。

問：あなたのお住まいの地区は？



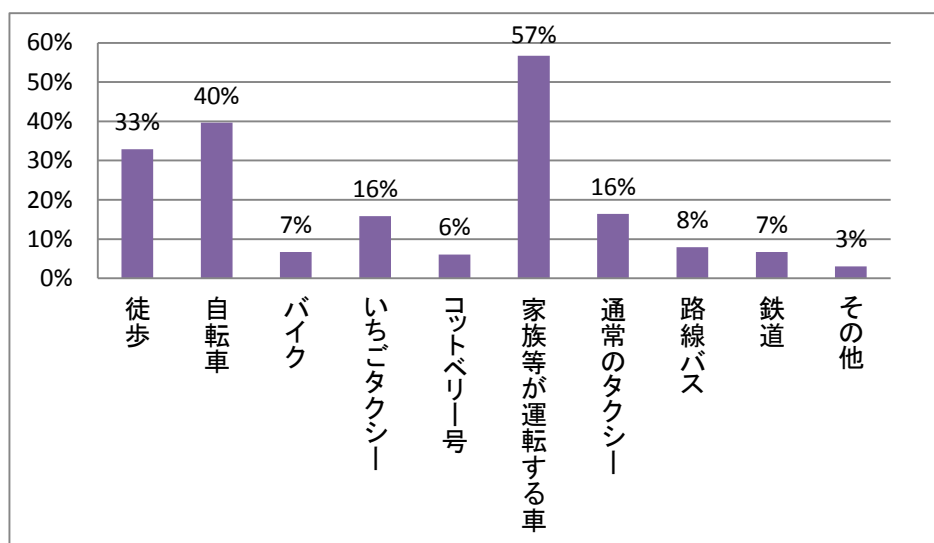
問：あなたの年齢は？



イ 移動手段

- ☐ 運転免許がない、自由に使える車がないといった理由により、自分で車を運転して移動できない状況にある人の普段の交通手段は、家族等の送迎、自転車、徒歩が多くなっています。
- ☐ いちごタクシー、通常のタクシーとの回答もそれぞれ10%を超えています。

問：あなたの普段の主な移動手段は？

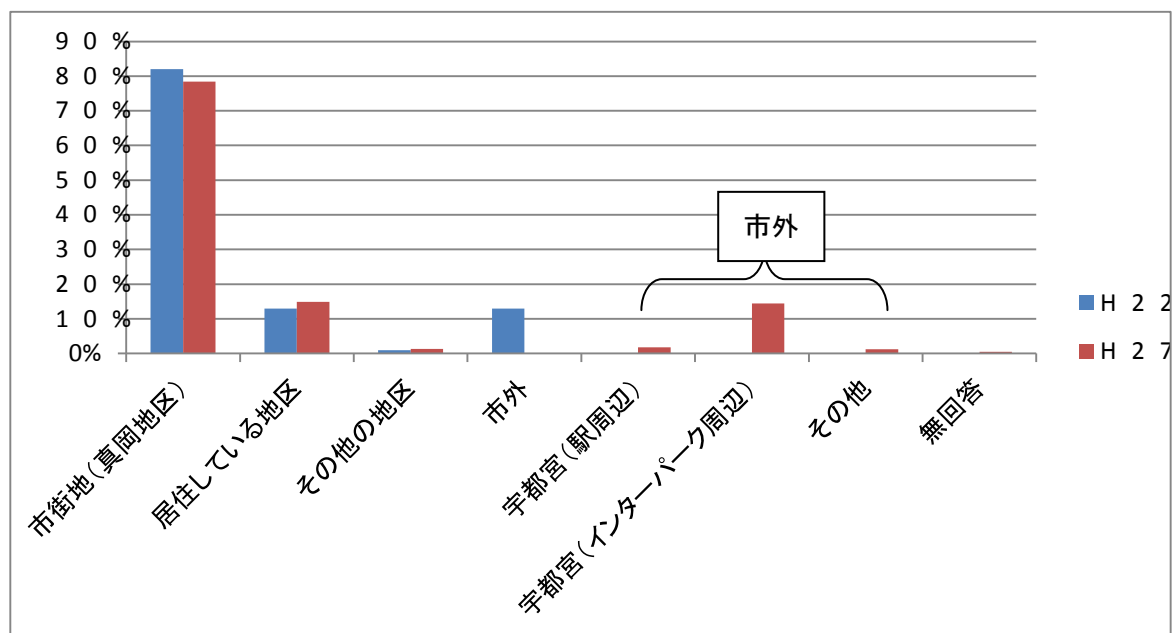


※回答のあったもののみで集計

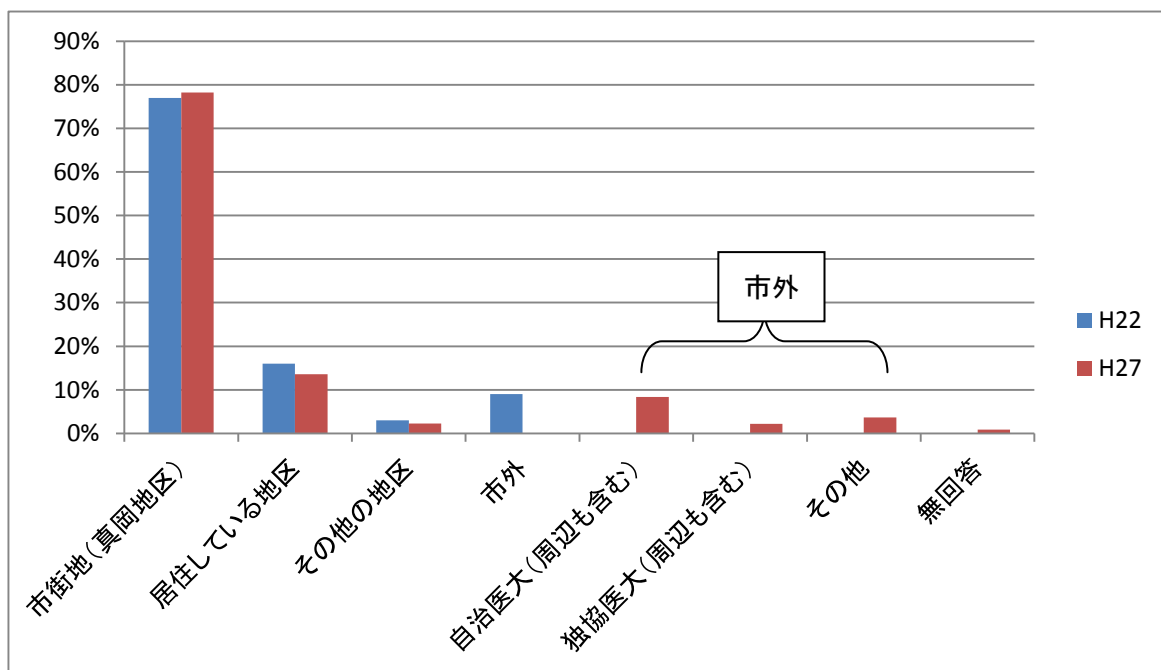
ウ 外出の目的地

- 買い物、通院の行先は市街地（真岡地区）との回答が多数を占めています。
- 5 年前（平成 22 年）に実施した調査と同様の傾向が見られます。

問：あなたが買い物（日用品）に出かける場合、主にどちらに行かれますか。



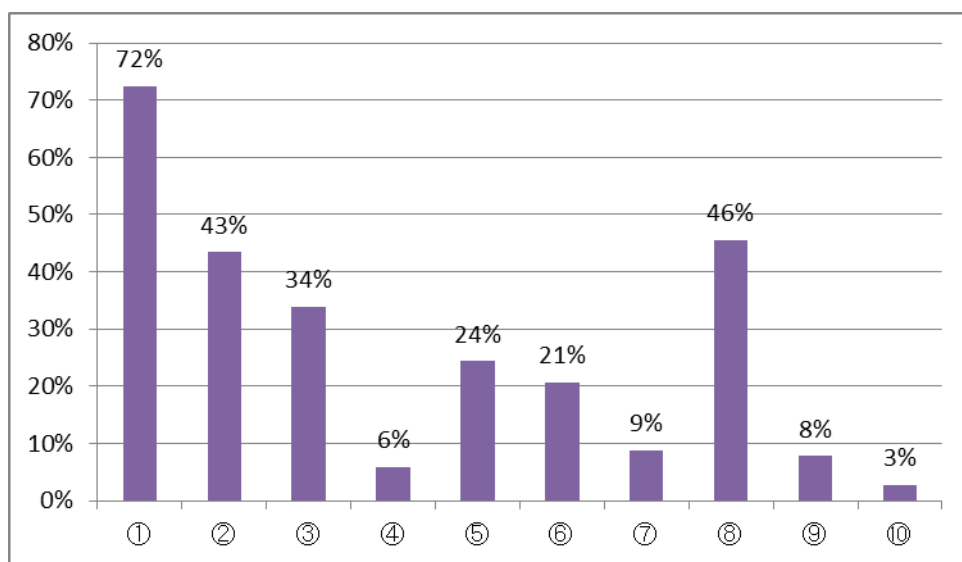
問：あなたが病院・診療所へ行く場合、主にどちらに行かれますか。



エ 地域公共交通の認知

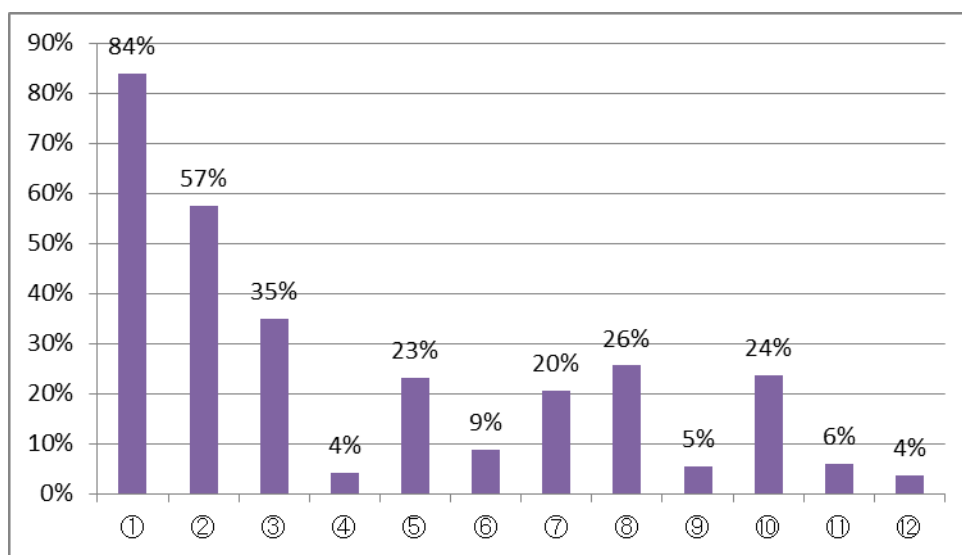
- ☐ いちごタクシー、コットベリー号、いずれも市民に広く認知されてきています。
- ☐ ただ、利用経験のある人は少数にとどまっており、特にいちごタクシーで具体的なことまでは知らないという人が多くなっています。

問：いちごタクシーのことをどの程度知っていますか。



- ① 走っているのを見たことがある
- ② 停留所を見たことがある
- ③ 乗り方のパンフレットなどを見たことがある
- ④ 自治会の集まり等で説明を聞いたことがある
- ⑤ 予約方法や料金を知っている
- ⑥ どこへ行けるかを知っている
- ⑦ 友人や知人に教えたことがある
- ⑧ 走っていることは知っていたが具体的なことは知らなかった
- ⑨ 運行していることを全く知らなかった
- ⑩ 無回答

問：コットベリー号のことをどの程度知っていますか。

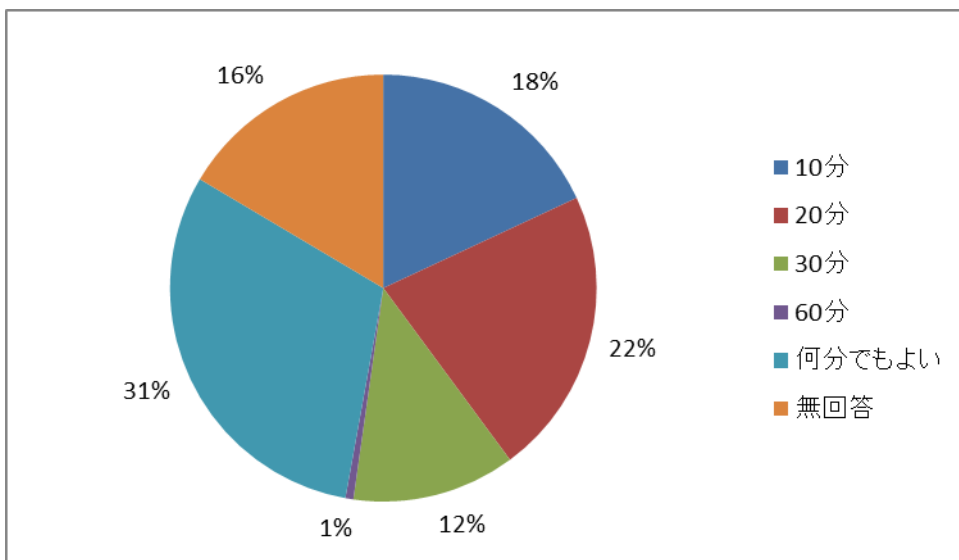


- ① 走っているのを見たことがある
- ② 停留所を見たことがある
- ③ 時刻表や路線図、乗り方のパンフレットを見たことがある
- ④ 自治会の集まり等で説明を聞いたことがある
- ⑤ 最寄りの停留所を知っている
- ⑥ 何時ごろに乗れるのか(時刻表)を知っている
- ⑦ どこへ行けるかを知っている
- ⑧ 料金を知っている
- ⑨ 友人や知人に教えたことがある
- ⑩ 走っていることは知っていたが具体的なことは知らなかった
- ⑪ 全く知らなかった
- ⑫ 無回答

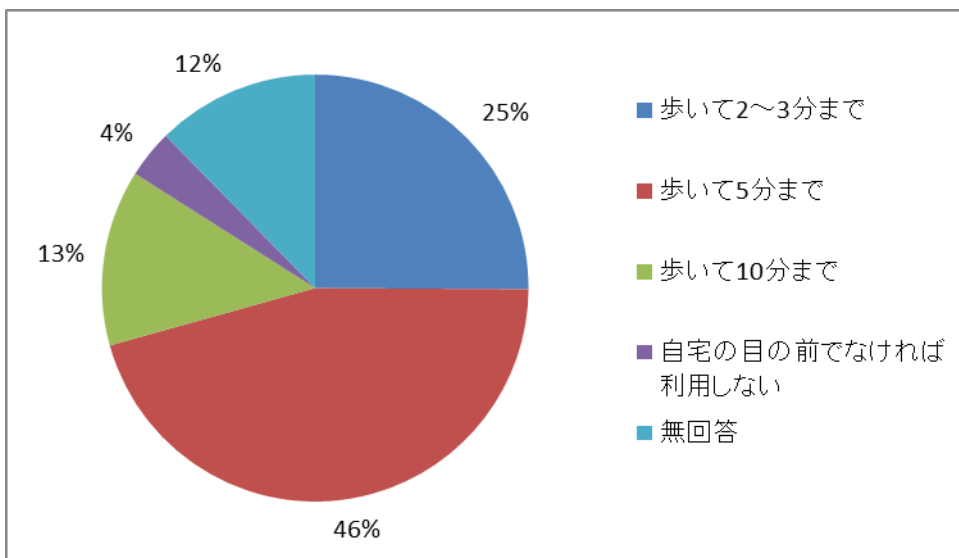
オ バスのサービス水準の許容度

- バスを利用するとした際に許容できるサービスの程度については、目的地の停留所までの乗車時間は10分まで、20分までといった短時間を望む回答がある一方、何分でもよいとする回答もあります。
- バス停までの距離は歩いて5分を超えてしまうと許容する人が少なく、待ち時間は10分までを望む回答が多く、20分を超えると許容する人が少なくなっています。
乗り換えが必要な場合は待ち時間や待合場所への配慮が必要であると思われます。

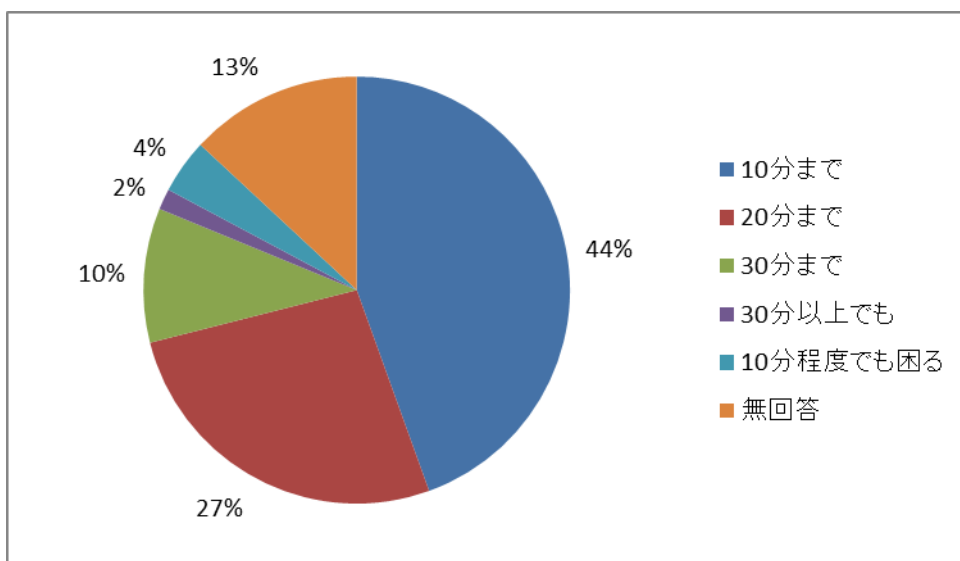
問：バスに乗車してから目的の停留所までどのくらいの時間なら利用しますか。



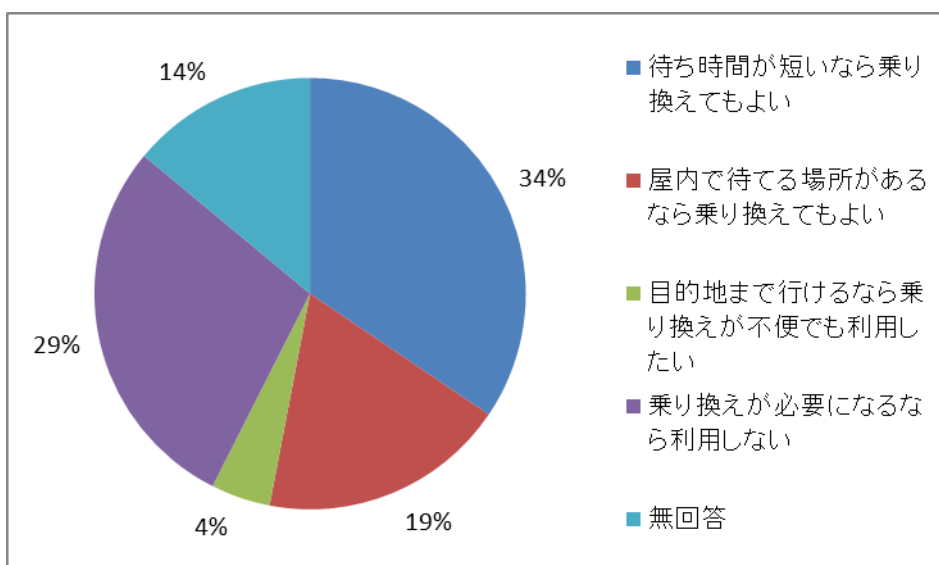
問：自宅や行先から最寄りのバス停まで、どの程度の距離なら利用しますか。



問：ちょうどいい時刻にバスがないとき、どのくらいなら待つことができますか。



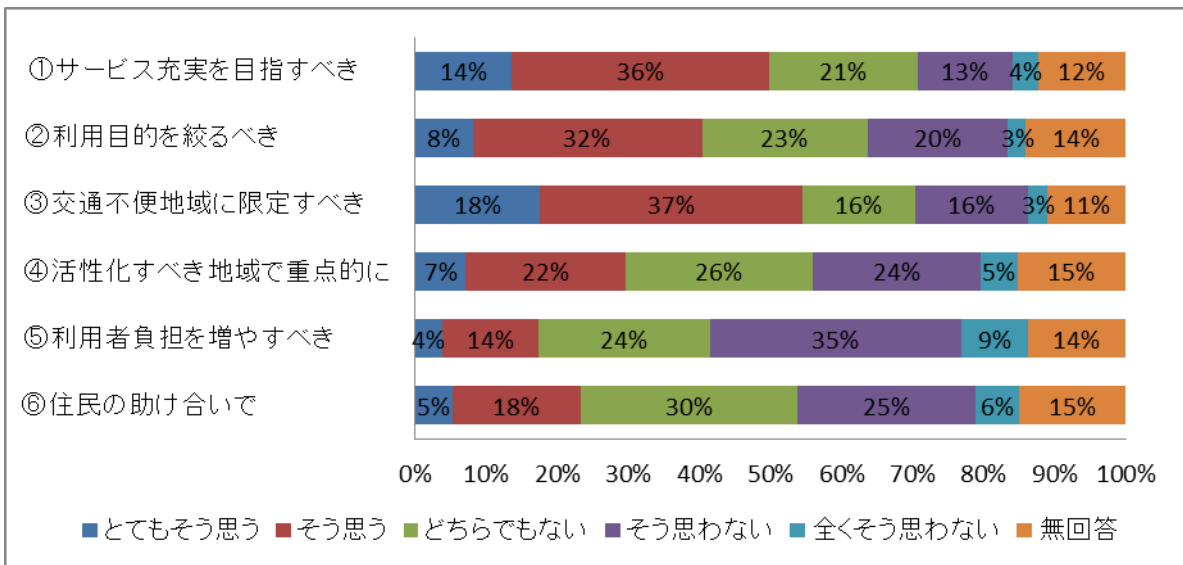
問：途中でバスを乗り換えないと目的地まで行けないとしたら、どう思いますか。



カ 地域公共交通の今後の運行について

- ☐ 交通不便地域を中心に、利用目的を絞って、サービスの拡充を求める声が大きくなっています。
- ☐ 受益者負担の増大や、地域住民の協力による対応はあまり賛同を得られていません。
- ☐ 通院目的を優先すること、要望の大きい地域にサービスを追加することは求められています。

問：いちごタクシー、コットベリー号の今後の運行のあり方について、あなたのお考えをお答えください。

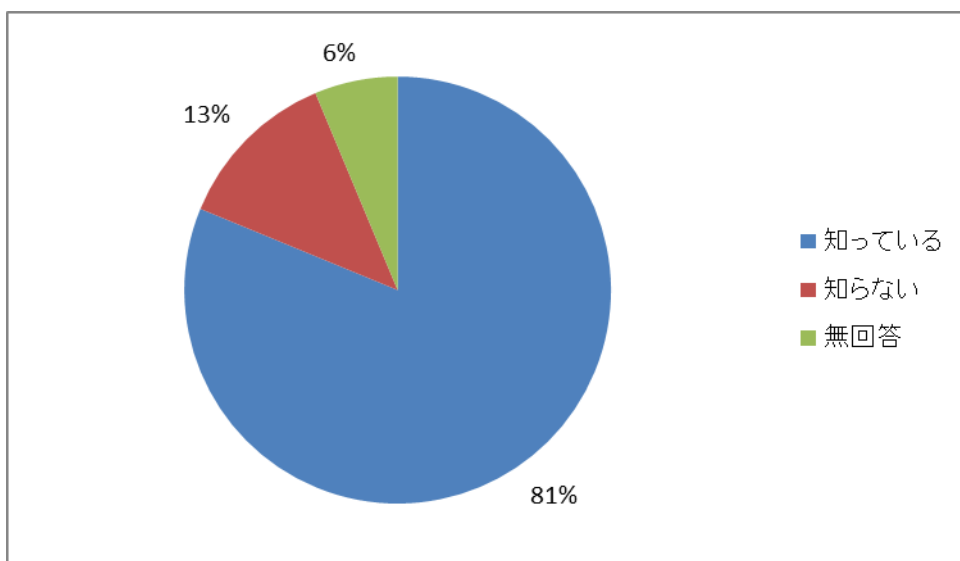


- ① 市の財政負担が増えるとしても、路線の拡充や便数の増加など、サービスの充実を目指していくべき
- ② 利用目的をしぼることで、運行の規模を限定して経費を節減していくべき
- ③ 特に交通の便が悪い地域に絞って運行していくべき
- ④ 特に活性化すべき地域で重点的に運行していくべき
- ⑤ 料金を値上げして利用者の負担を増やし、市の財政負担を減らしていくべき
- ⑥ 地域住民同士の助け合いの活動を市が支援するなど、いちごタクシーやコットベリー号とは違う方法で、市民の足を確保していくべき

キ 運転免許自主返納制度について

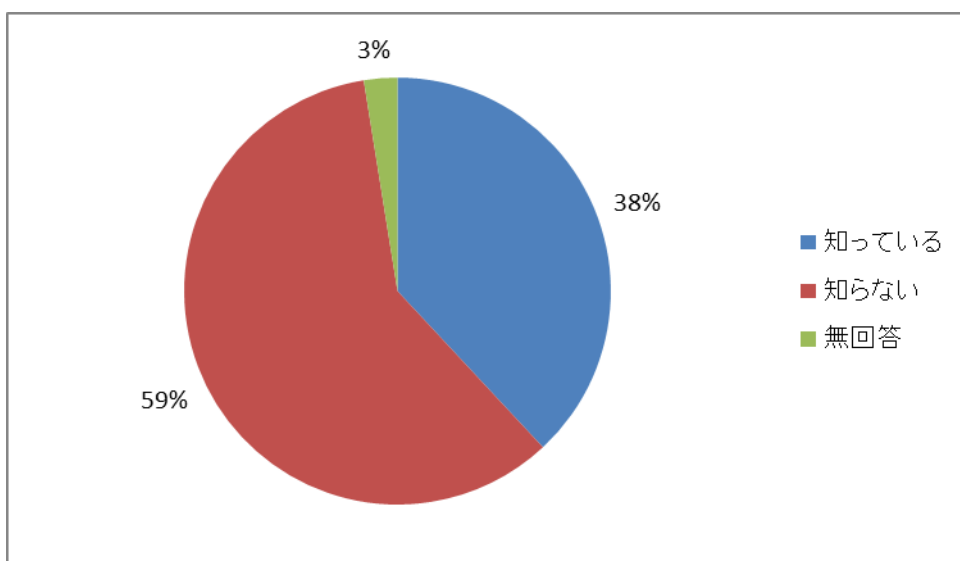
- ☐ 制度の存在は知っているが、運転経歴証明書の交付については知らない人が多くなっています。
- ☐ 返納時期は70歳代～80歳代前半を考えている人が多くなっています。
- ☐ 返納後は外出機会が減ると考えている人が大半です。
- ☐ 70歳以上の高齢者では、運転経歴証明書について知っている人が増え、返納時期は80歳代を考えている人が多くなっています。

問：運転免許証の自主返納制度を知っていますか。

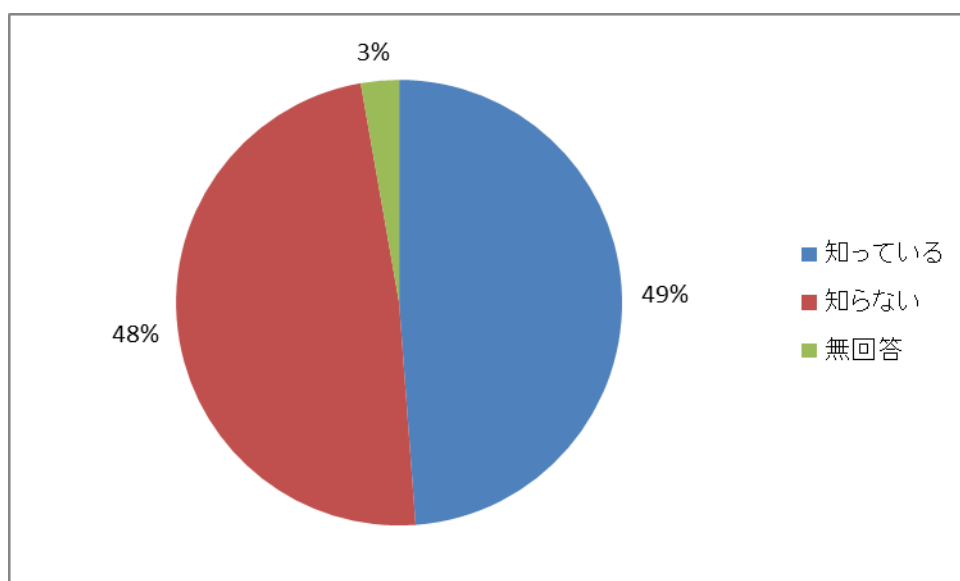


問：運転経歴証明書の交付を受けられることを知っていますか。

自主返納制度を知っている人のみで集計

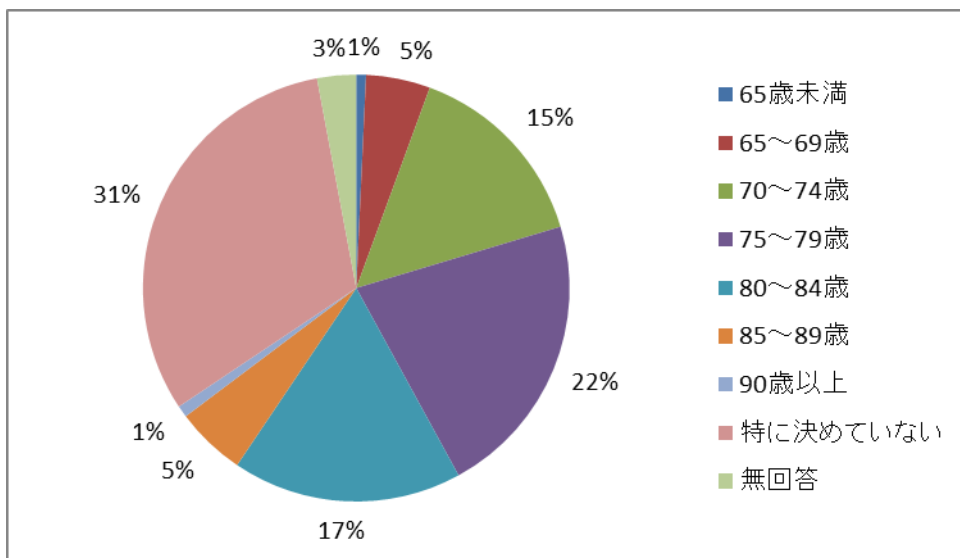


70 歳以上の回答者のみで集計

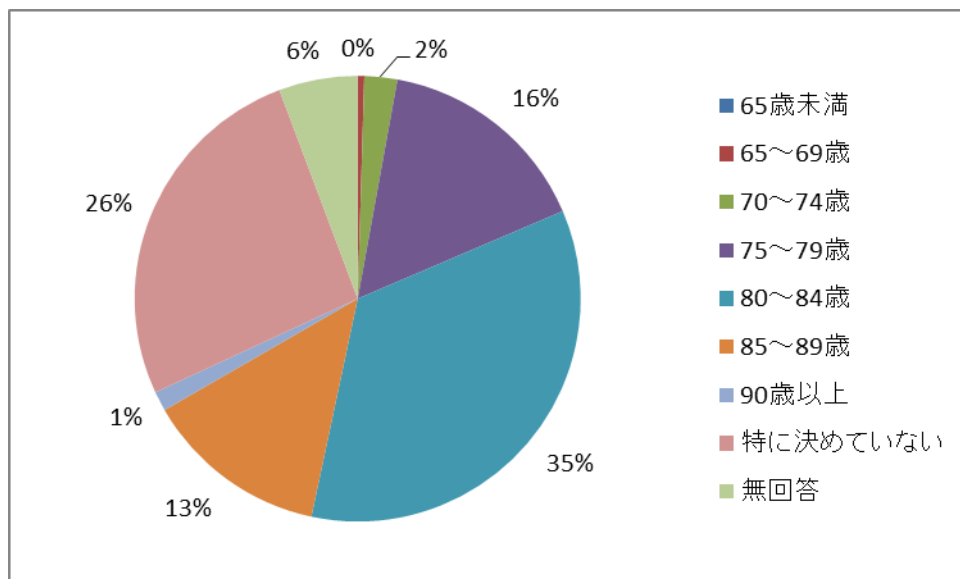


問：何歳まで運転したいとお考えですか。

運転免許ありの人のみで集計

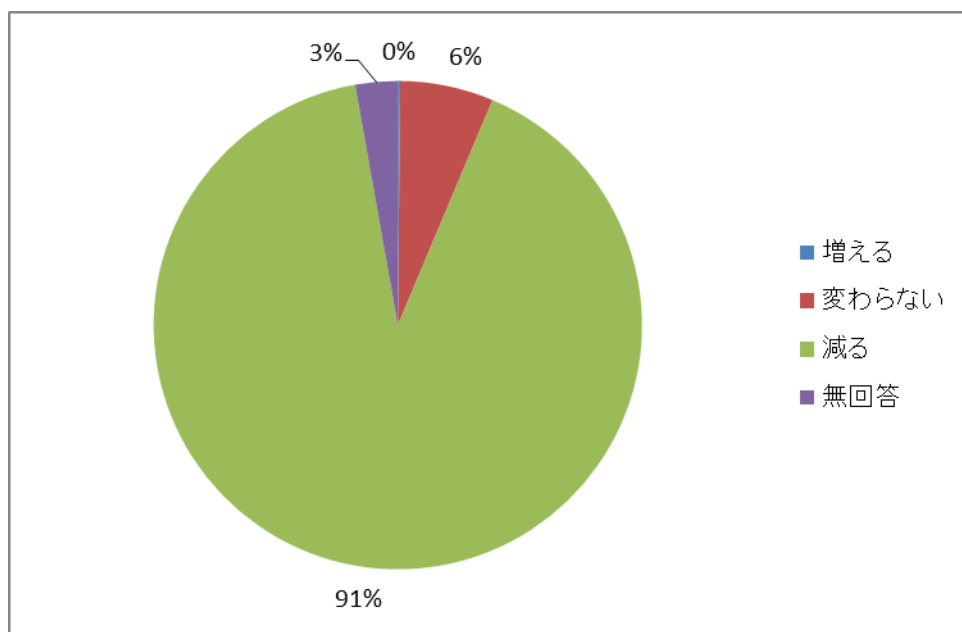


70 歳以上の回答者のみで集計



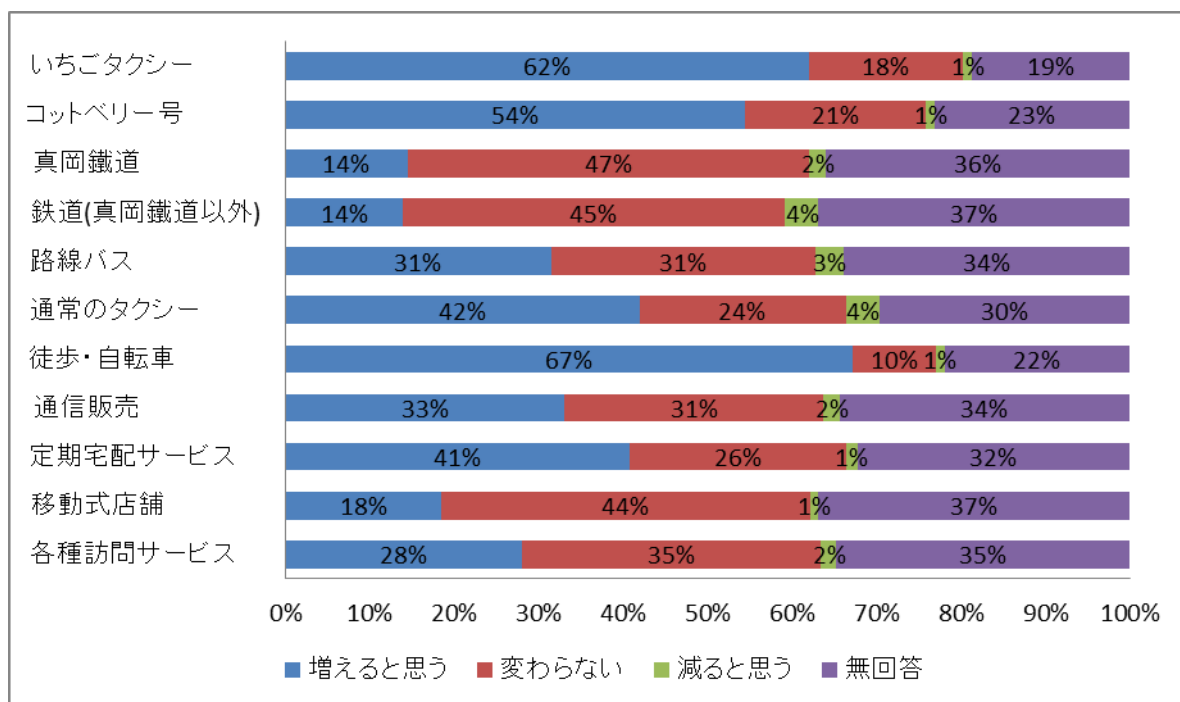
問：運転免許証を返納した場合、予想される外出頻度についてお答えください。

運転免許ありの人のみで集計



問：返納前後を比べて、以下の移動手段やサービスの利用は変わりますか。

運転免許ありの人のみで集計



2 いちごタクシー利用者アンケート

(1) 調査概要

平成 27 年度に実施したいちごタクシー利用者アンケートの概要は、以下のとおりです。

いちごタクシー利用者アンケートの概要

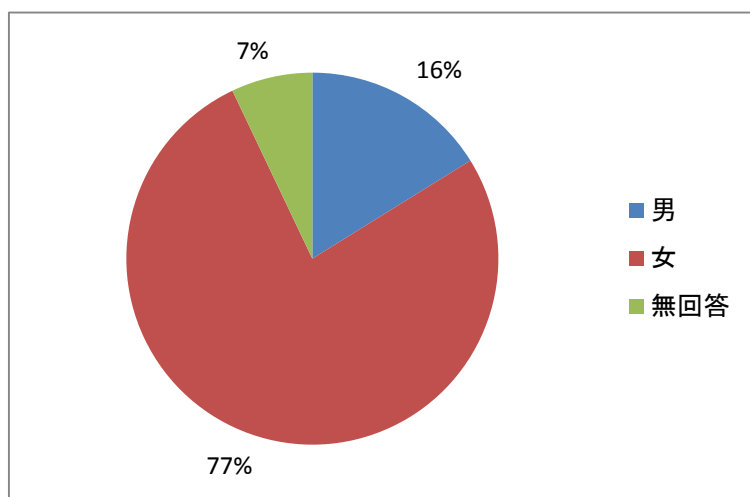
調査時期	平成 27 年 8 月
調査方法	いちごタクシー車内での配布 郵送での回収
回収数/配布数（回収率）	99 票/150 票（66%）

(2) 集計結果概要

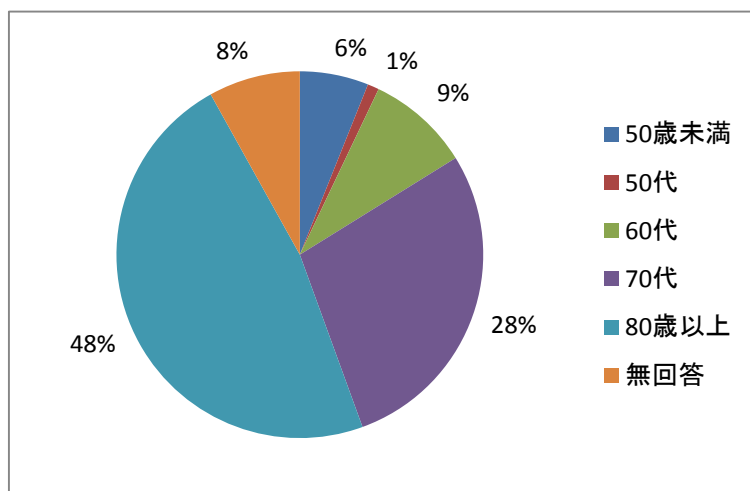
ア 利用者の属性

□ 利用者は女性が多く、年齢は 70 歳代、80 歳代が多くなっています。

問：あなたの性別は？



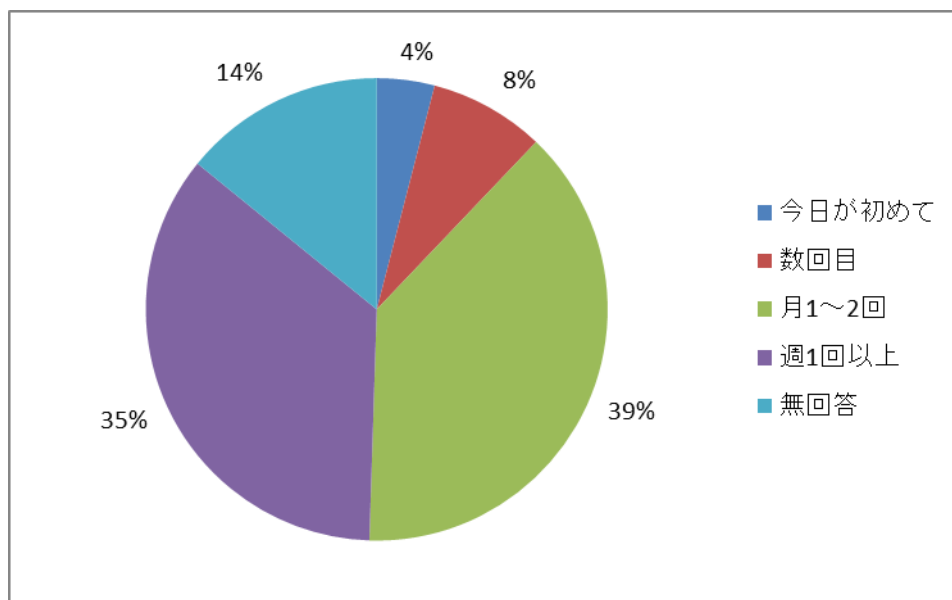
問：あなたの年齢は？



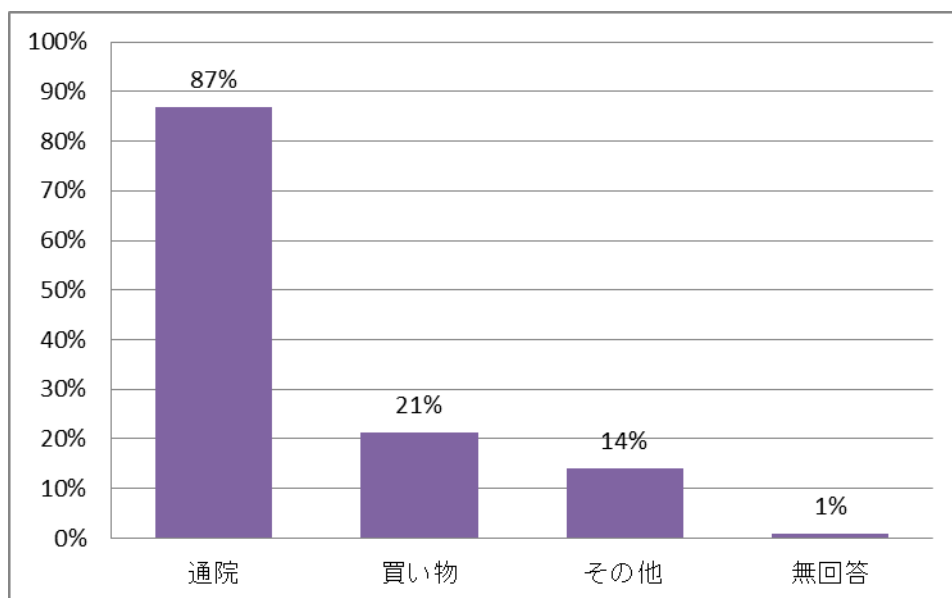
イ 利用状況

□ 定期的に利用している利用者が多く、目的は通院が多くなっています。

問：いちごタクシーをどのくらい利用していますか。



問：いちごタクシーを利用する外出の目的として多いものを教えてください。

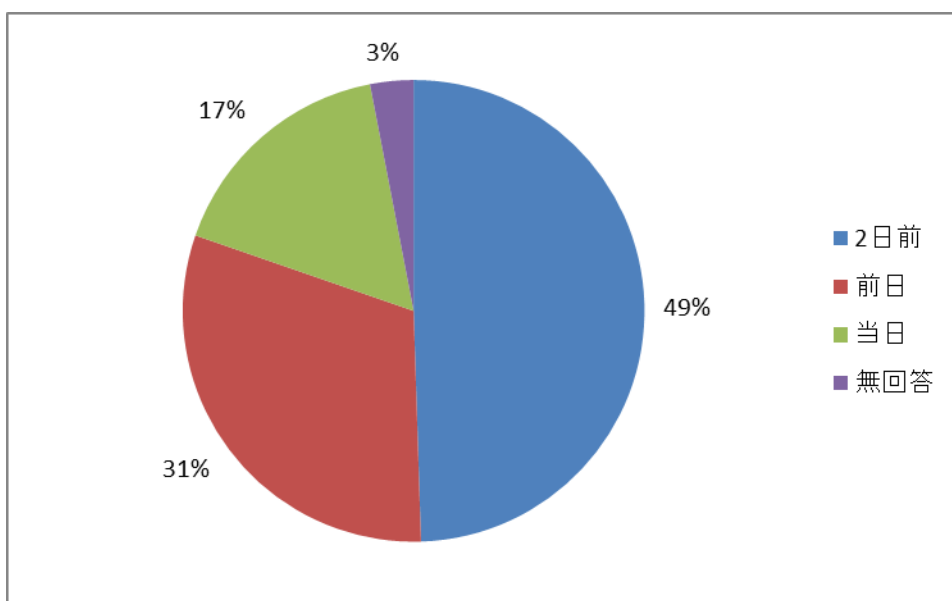


ウ 予約について

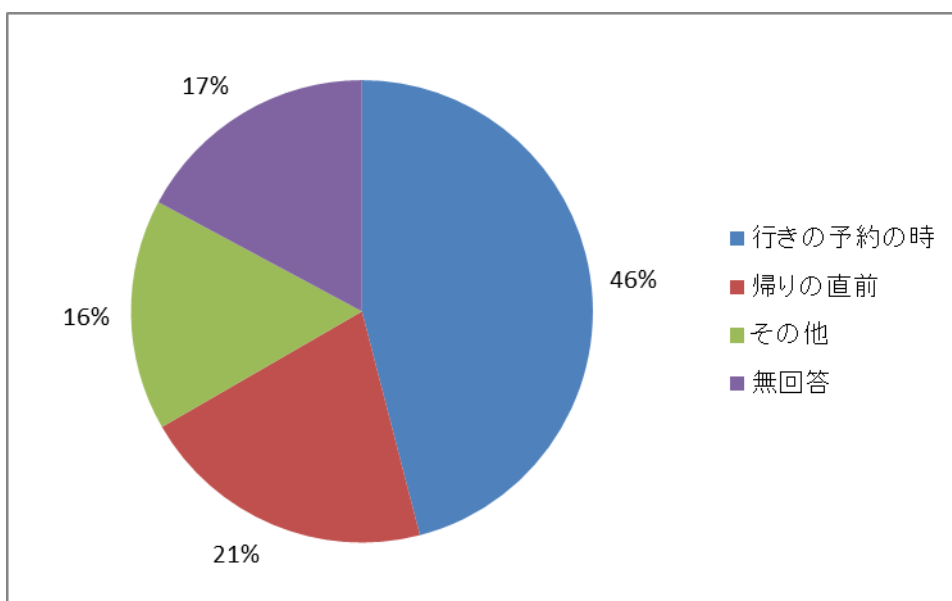
- 行きの予約は早めに行っているケースが大半となっています。帰りについても、行きの予約時に事前に予約するケースがおおよそ半数に上っています。
- 予約をとれない経験がある利用者が多く、対策として早めの予約を心掛けている人が多くなっています。
- 利用の多い午前の便では、事前に予定できる利用目的でないと利用することが難しくなっていると考えられます。

問：本日のいちごタクシーの予約はいつ行いましたか。

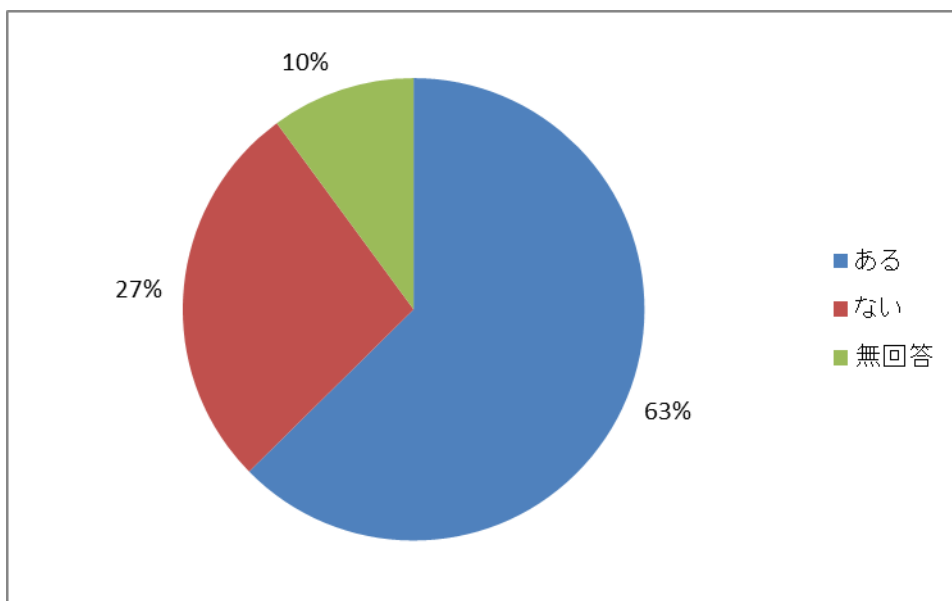
自宅から目的地への予約



帰りの予約

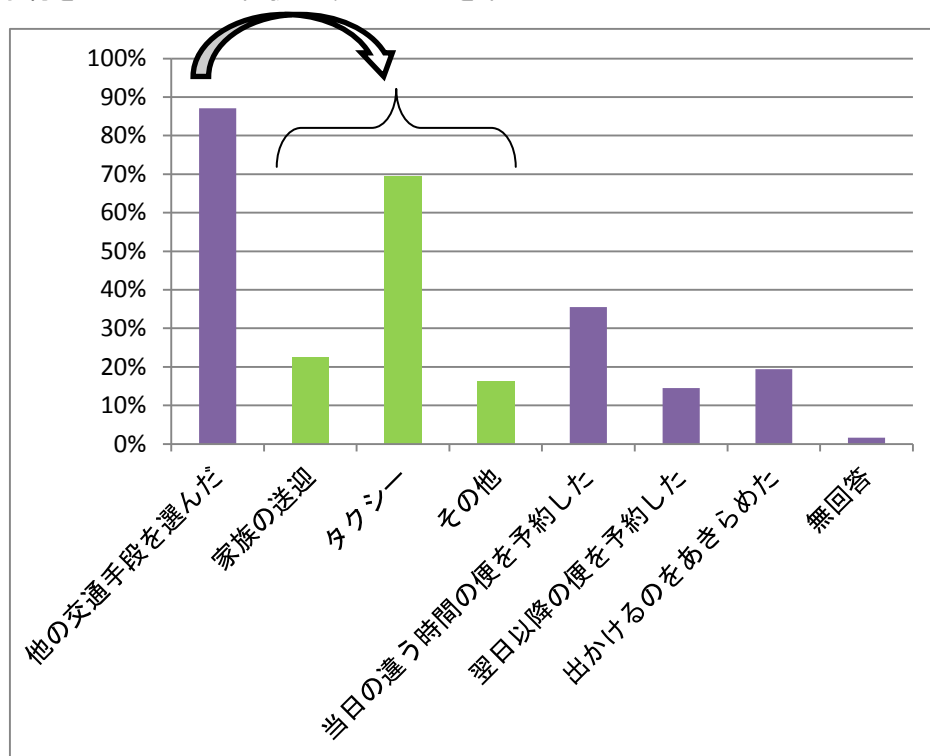


問：いちごタクシーの予約が満車等で取れなかったことはありますか。

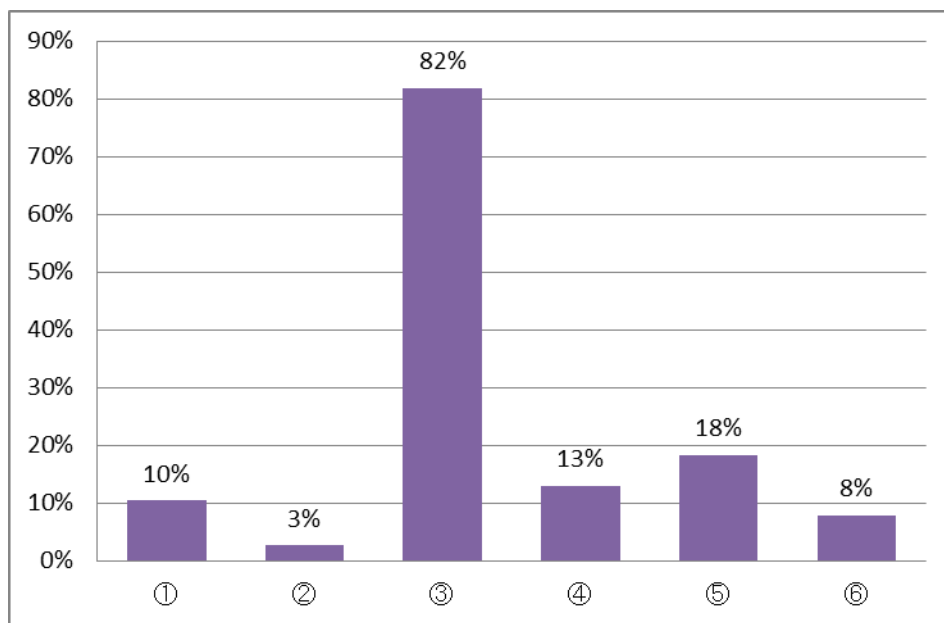


問：予約が取れなかったとき、どのような対応を取りましたか。（複数回答可）

予約が取れなかった経験のある人のみを集計



問：予約が取れなかったことで、その後のいちごタクシーの利用に変化がありましたか。

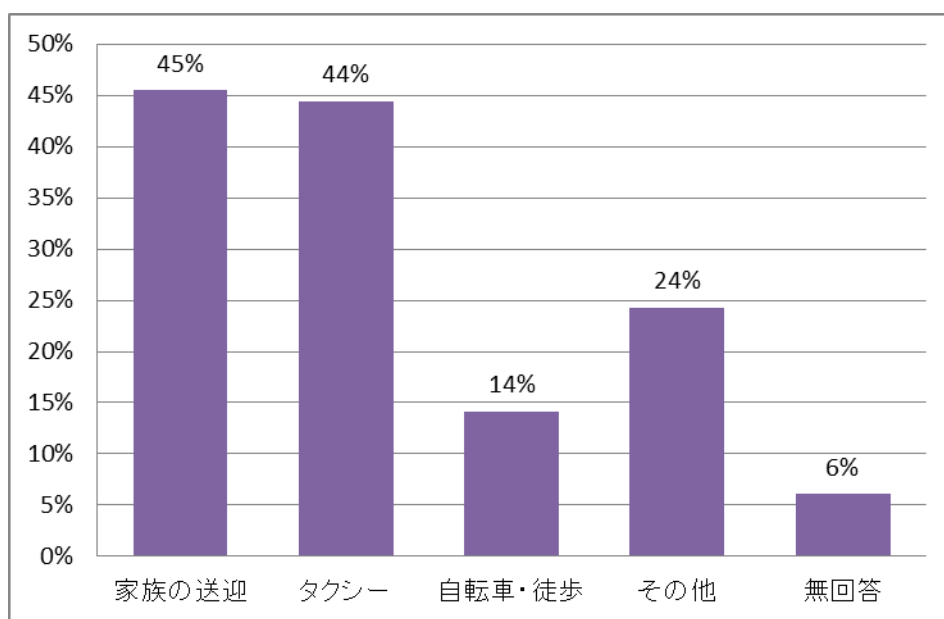


- ① 利用を我慢することが増えた
- ② 出かける頻度が減った
- ③ 早めに予約するよう心掛けるようになった
- ④ いちごタクシーの予約を取ってから病院の予約を決めるようになった
- ⑤ 他の交通手段の利用が増えた
- ⑥ その他

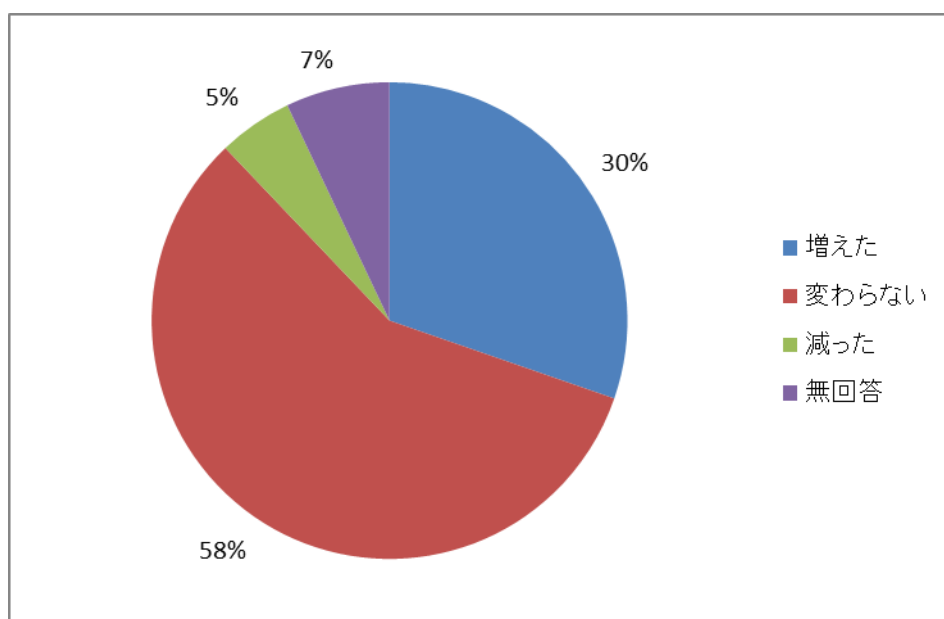
エ 利用前との比較

- ☐ いちごタクシー利用前は、多くの人が家族の送迎、タクシーを利用していました。
- ☐ いちごタクシーの利用に伴い、外出機会が増えたと回答した人が3割に上りました。

問：いちごタクシーをご利用になる以前は、どのような交通手段を利用していましたか。



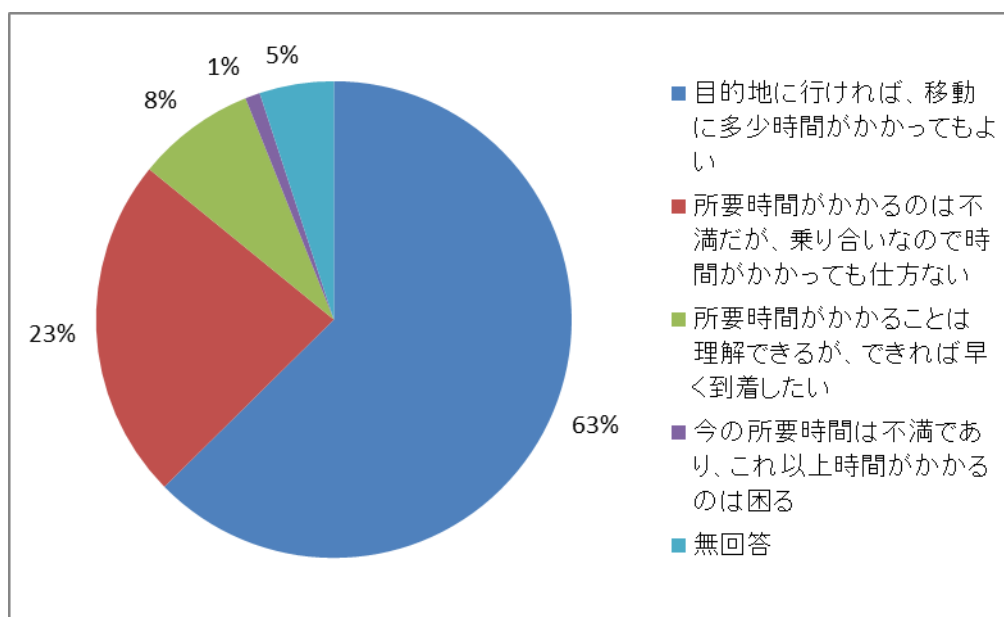
問：いちごタクシーを使うようになってから、外出する頻度は増えましたか。



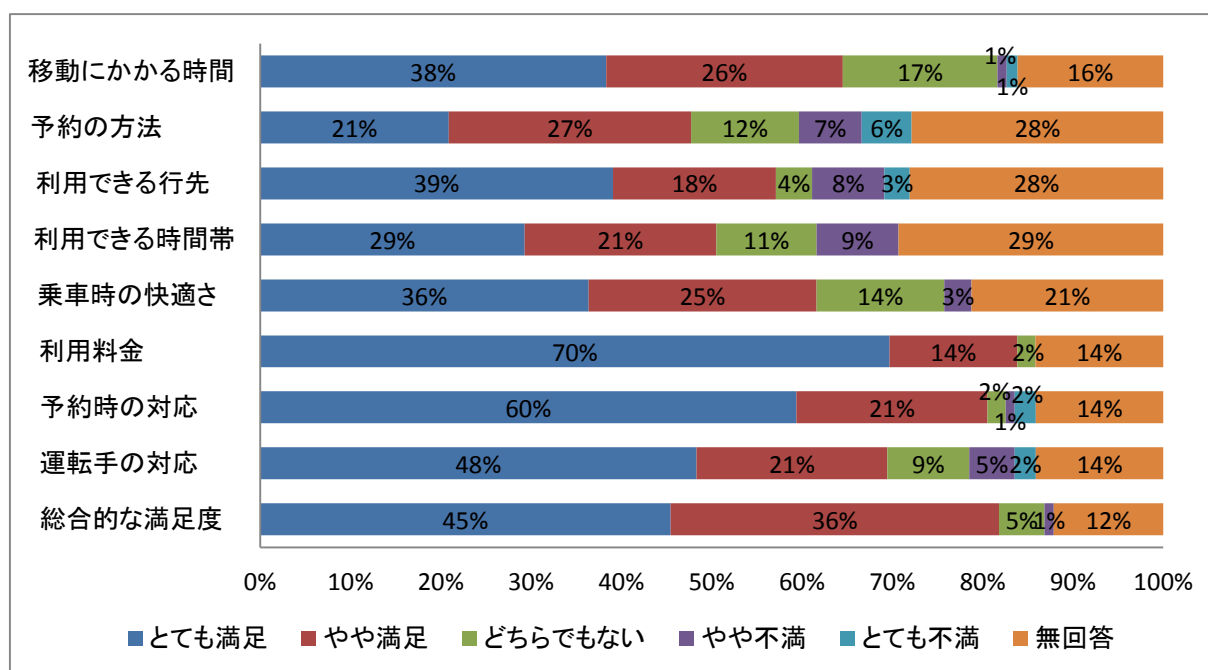
オ いちごタクシーのサービス水準への許容度、満足度

- 乗り合いのため時間がかかることにはほとんどの利用者が理解を示しています。
- ただし、時間帯、行先、予約の方法には、不満を持つ利用者もいます。総合的には満足とする人が多く、不満は少なくなっています。

問：いちごタクシーでは、他の乗客の目的地を経由するので時間がかかることがあるが、どう思いますか。



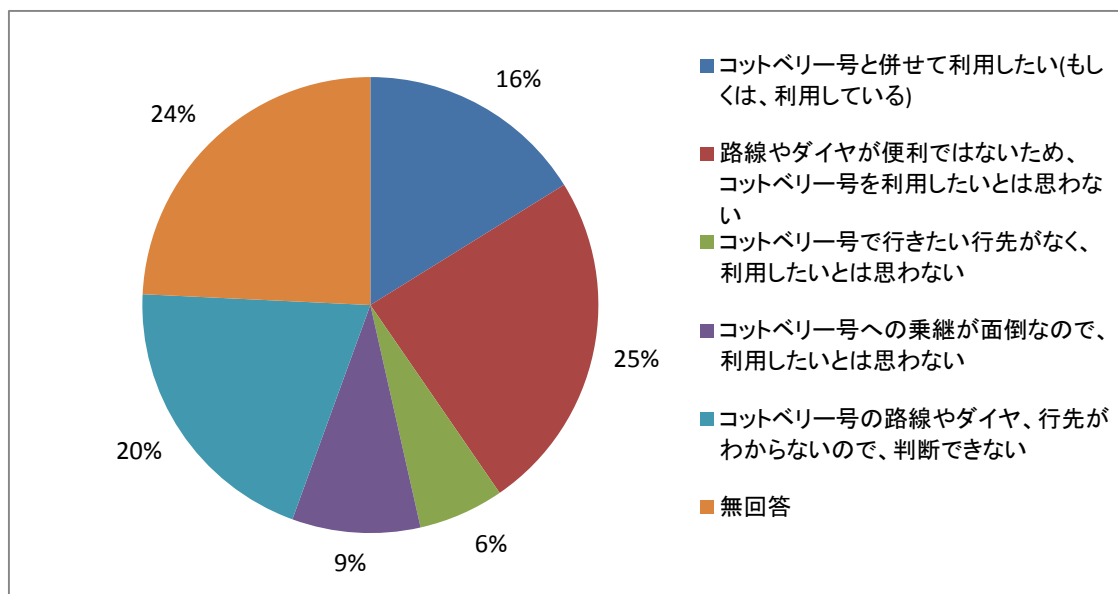
問：いちごタクシーをご利用になってのご感想をお聞かせください。



カ コットベリー号との連携

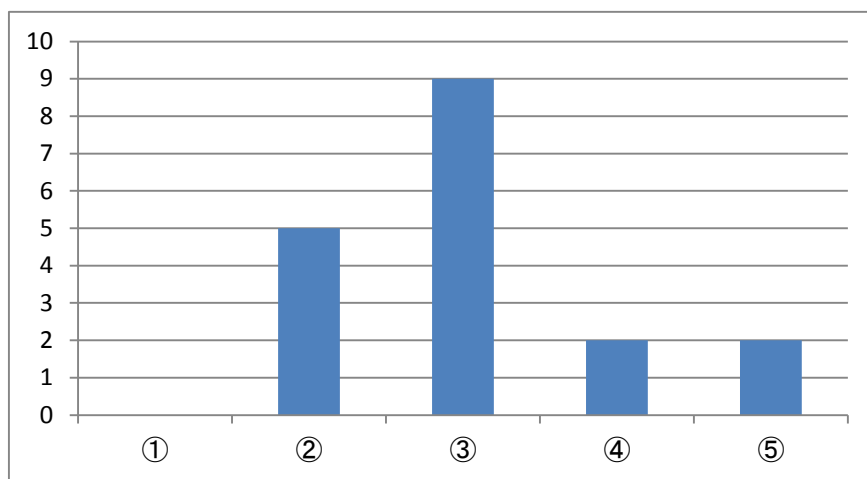
- コットベリー号との乗り継ぎを考える利用者は少ない状況です。
- 真岡地区においては、コットベリー号と比較の上、いちごタクシーが便利だとして利用している人も多いが、比較を行っていない人もおり、いちごタクシーが混雑する時間帯を中心に、コットベリー号の利用を検討するよう促すことが有効であると考えられます。

問：いちごタクシーでお出かけの際に、コットベリー号を併せて利用したいとお考えですか。



問：本日のお出かけにコットベリー号を使うことは検討されましたか

真岡地区にお住まいでこの項目に回答した方のみを集計



- ① コットベリー号が運行していることを知らない
- ② コットベリー号の路線やダイヤ、行先がわからず、検討していない
- ③ 比較したが、いちごタクシーの方が便利である
- ④ コットベリー号でもよかったかもしれないが、いつもいちごタクシーを使っている
- ⑤ その他
- ⑥ 無回答

3 コットベリー号利用者アンケート

(1) 調査概要

平成 26 年に実施したコットベリー号利用者アンケートの調査概要は以下のとおりです。

コットベリー号利用者アンケートの概要

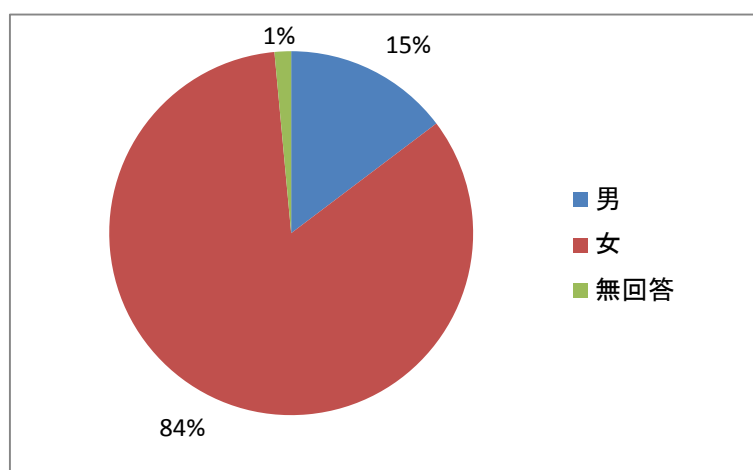
調査時期	平成 26 年 9 月
調査方法	コットベリー号車内での配布 郵送での回収
回収数/配布数（回収率）	86 票/150 票（57.3%）

(2) 集計結果概要

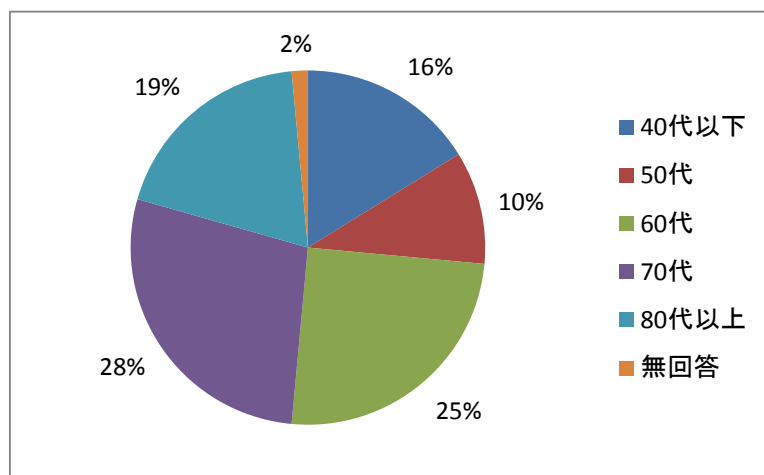
ア 利用者の属性

□ 利用者は女性が多く、年齢は高齢者が多いものの、他の年齢層も見られます。

問：あなたの性別は？



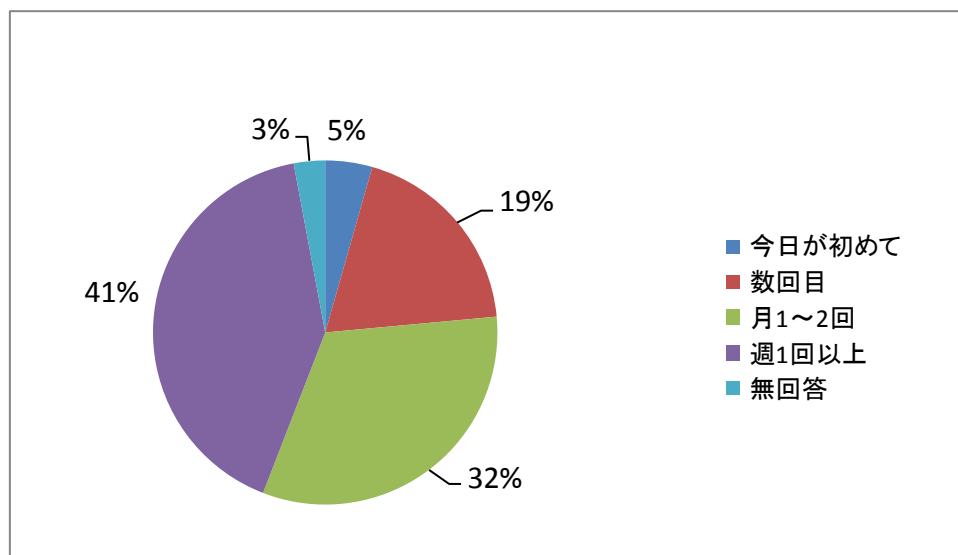
問：あなたの年齢は？



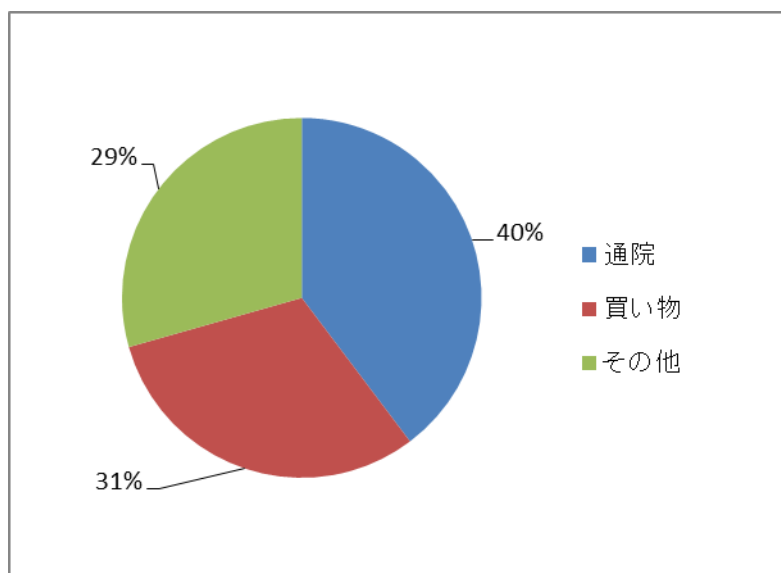
イ 利用状況

- ☐ 月一回以上の利用者が多く、定期的に利用している利用者が多いようです。
- ☐ 目的は通院、買い物が多くなっています。

問: コットベリー号をどのくらい利用していますか。



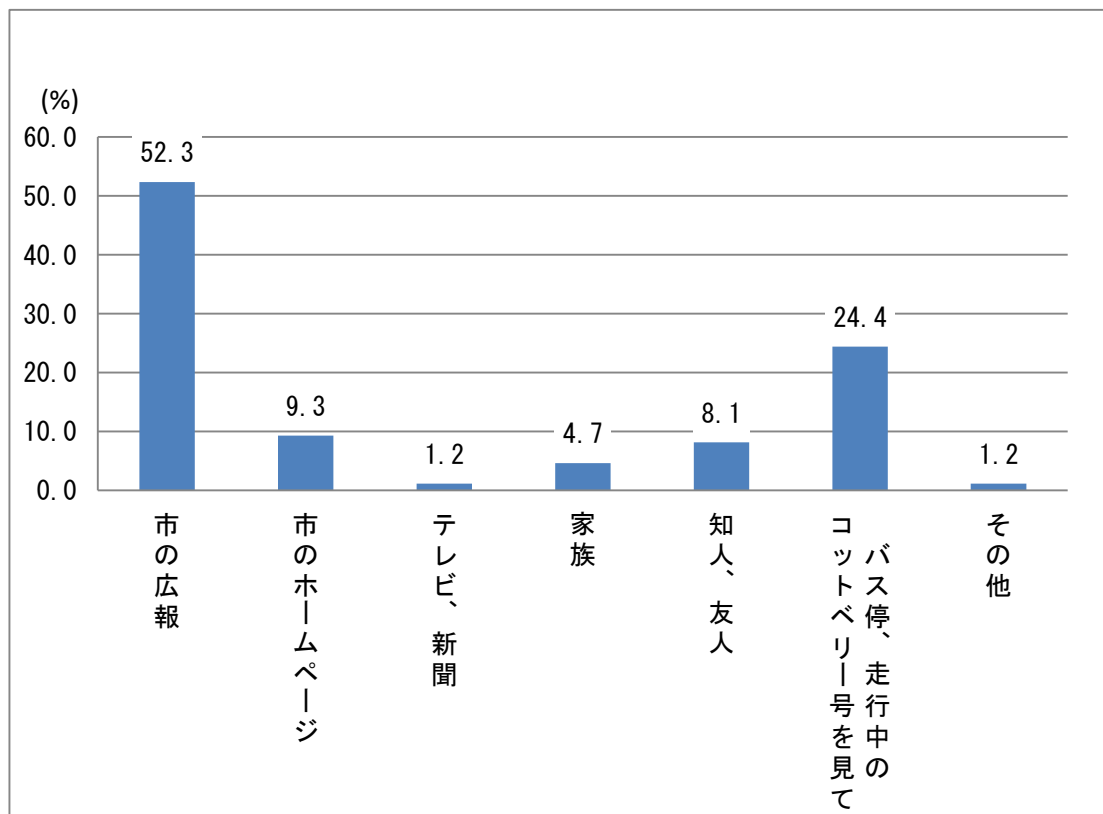
問: コットベリー号を利用する外出の目的として、多いものを教えてください。



ウ コットベリー号の認知

□ 市の広報での認知が多数を占めています。停留所や走行中の車両を見て知った人も多くいます。

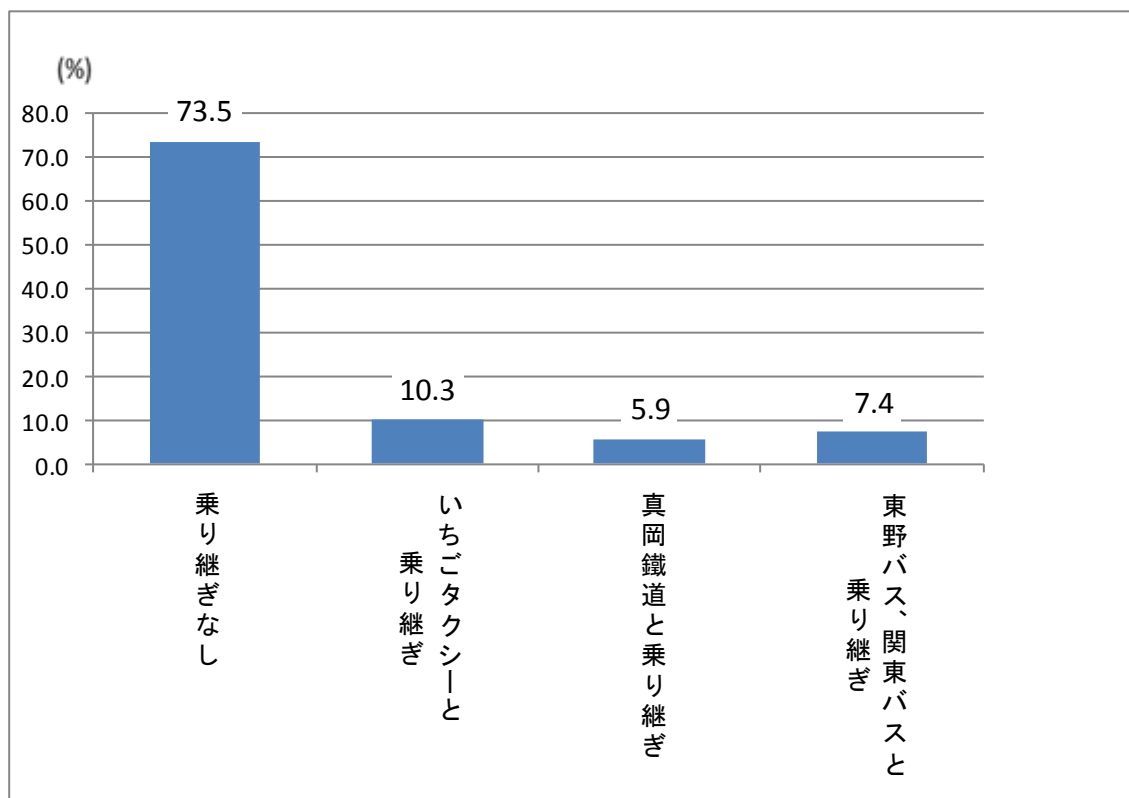
問:コットベリー号について、どこで知りましたか。



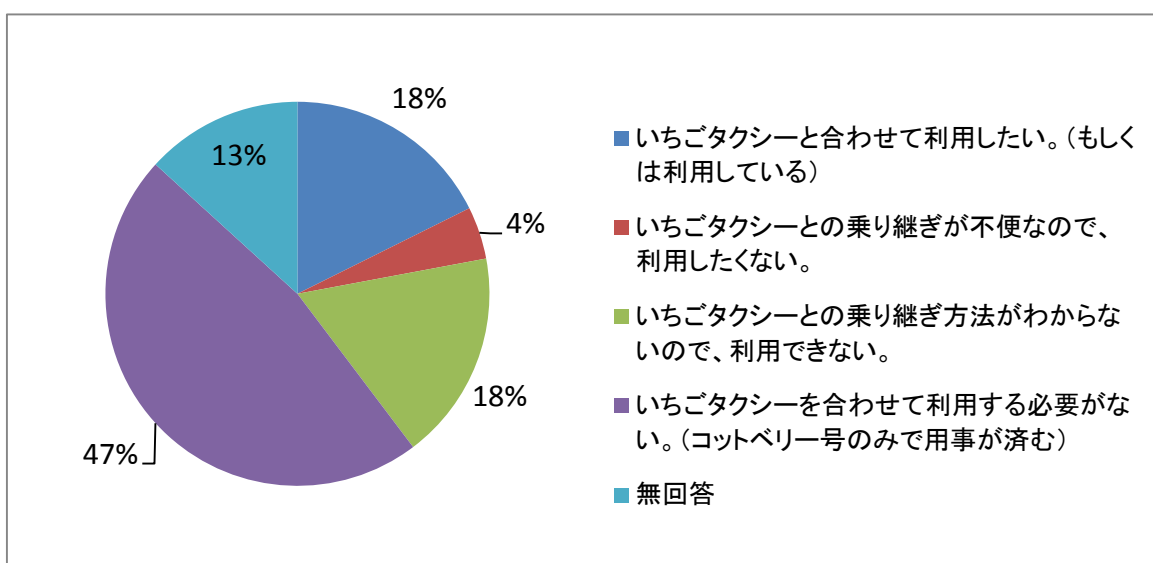
エ 他の交通手段との乗り継ぎ

- ☐ 乗り継ぎを行わない利用者が大半となっています。
- ☐ いちごタクシーとの乗り継ぎの必要がある移動は多くありませんが、乗り継ぎ方法がわからないとする回答もあります。

問：お出かけの際に、コットベリー号とほかの交通手段を乗り継ぐことがありますか。



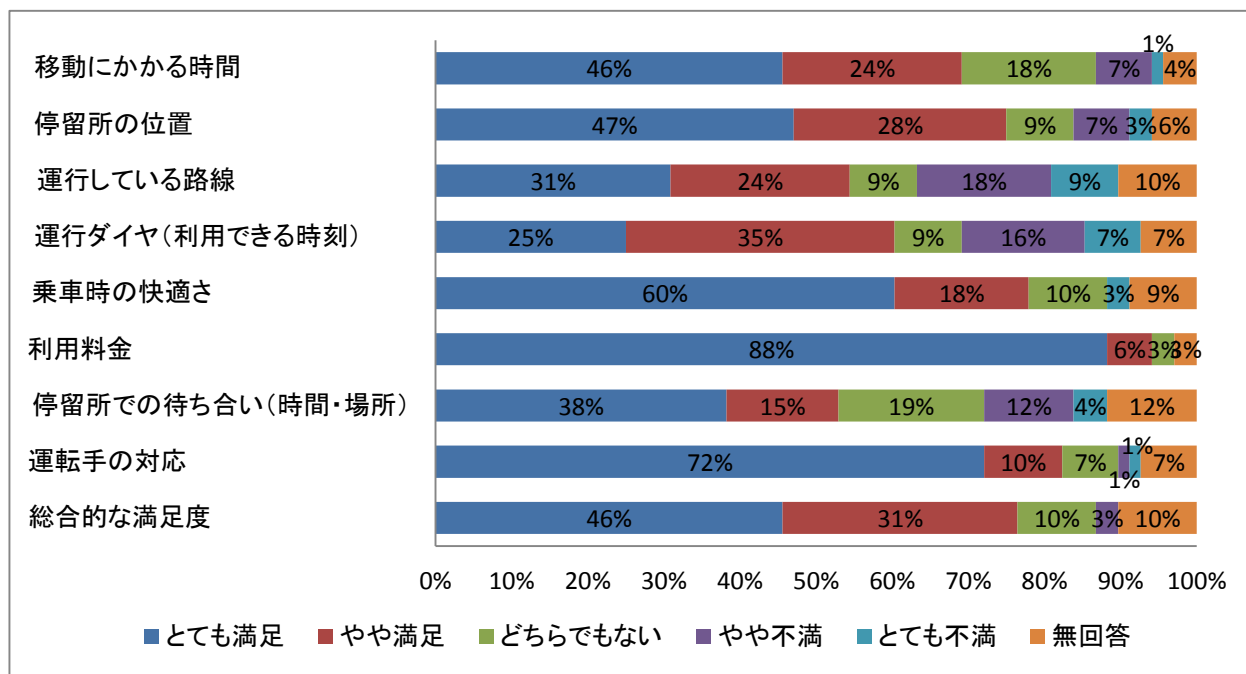
問：コットベリー号でお出かけの際に、いちごタクシー（乗合いタクシー）を合わせて利用したいとお考えですか。



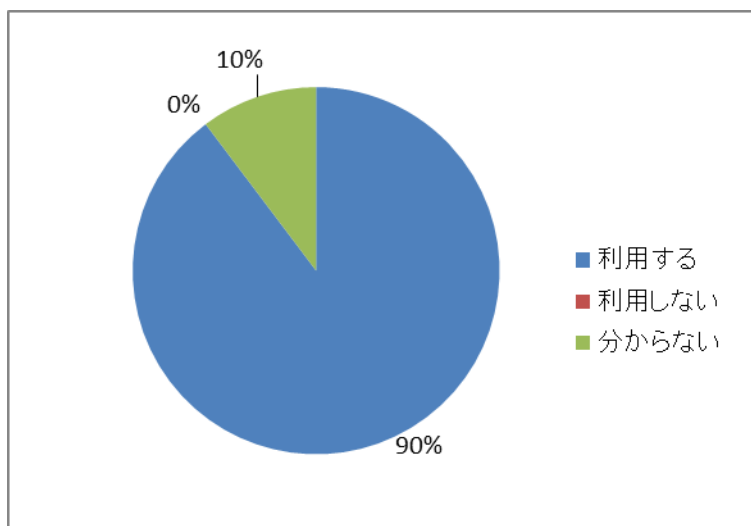
オ コットベリー号の満足度

□ 総じて満足度が高いが特に料金についての満足度が高い結果となっています。路線についてはやや評価が低いものの、今後の利用意向は高くなっています。

問：コットベリー号をご利用になってのご感想をお聞かせ下さい。



問：コットベリー号を今後も利用したいと思いますか。



4 県央広域都市圏生活行動実態調査

(1) 調査の概要

「どのような人が」、「どのような目的で」、「どこからどこへ」、「どのような交通手段で」移動したかなど、住民のある一日における移動について調査し分析したものです。

(2) 調査時期

平成 26 年 5 月～6 月（平日の 1 日の移動が調査対象）

(3) 調査対象

< 県央広域都市圏 >

宇都宮市、鹿沼市、日光市（今市地域）、真岡市、さくら市、那須烏山市、
下野市、芳賀町、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、壬生町、高根沢町

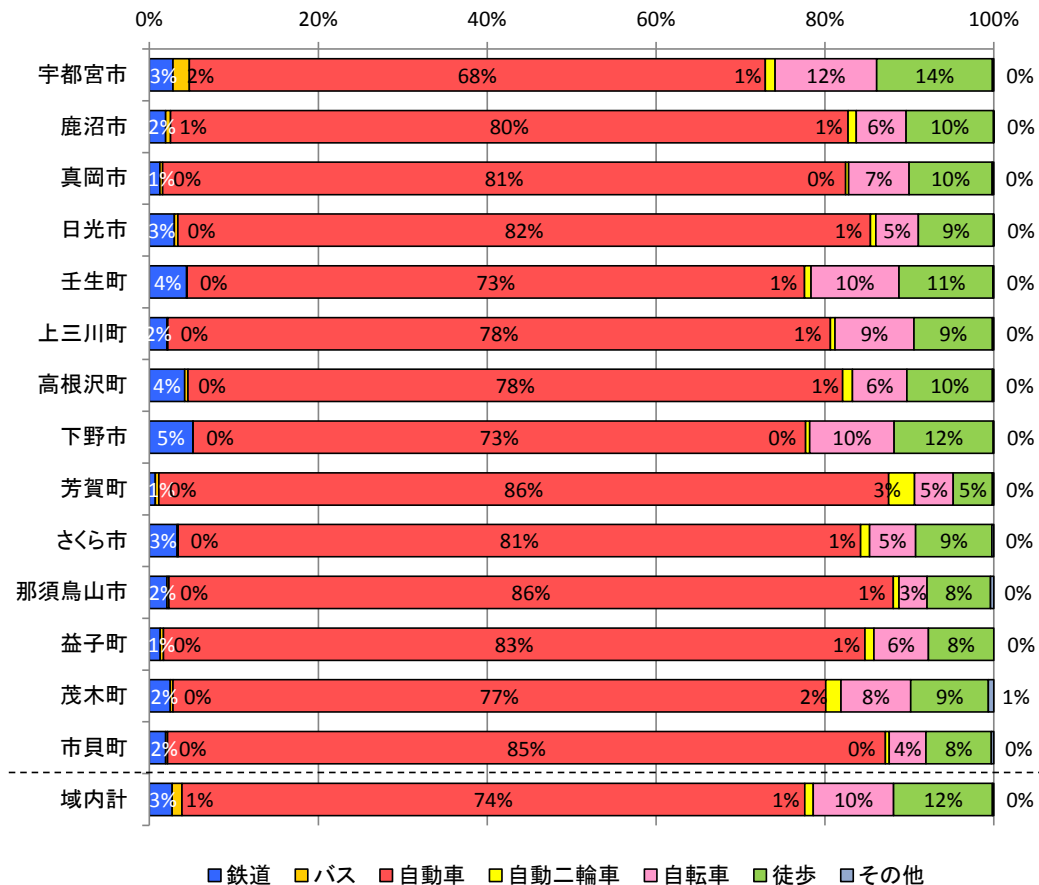
(4) 回収率

	発送数 (世帯)	返送数 (世帯)	返送率	有効回収数 (世帯)	有効回収率
真岡市	4,795	1,593	33.2%	1,398	29.2%
都市圏合計	約 11 万 5 千	約 4 万	34.9%	約 3 万 4 千	29.2%

(5) 調査結果（一部抜粋）

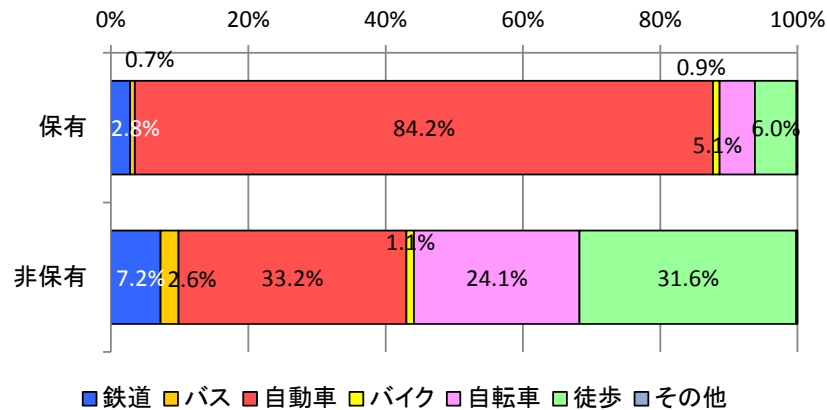
ア 代表交通手段分担率

□ 真岡市内では自動車の分担率は 8 割を超えています。



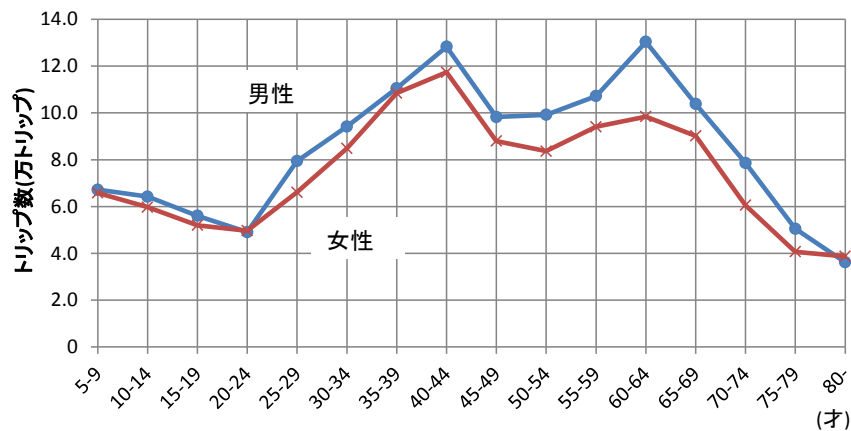
イ 免許保有有無別の代表交通手段分担率

- 免許を持っていない人でも自動車による移動をしている割合は高く、また、自転車、徒歩の分担率が高いことから、移動の距離は短くなっていると考えられます。



ウ 性別年齢階層別トリップ数

- 人口が多い60歳代、30歳～40歳あたりのトリップ数が多くなっています。70歳を超えると移動の機会が少なくなっていることが伺えます。



※トリップ

人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位をトリップといいます。
トリップは、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。

【トリップの例】

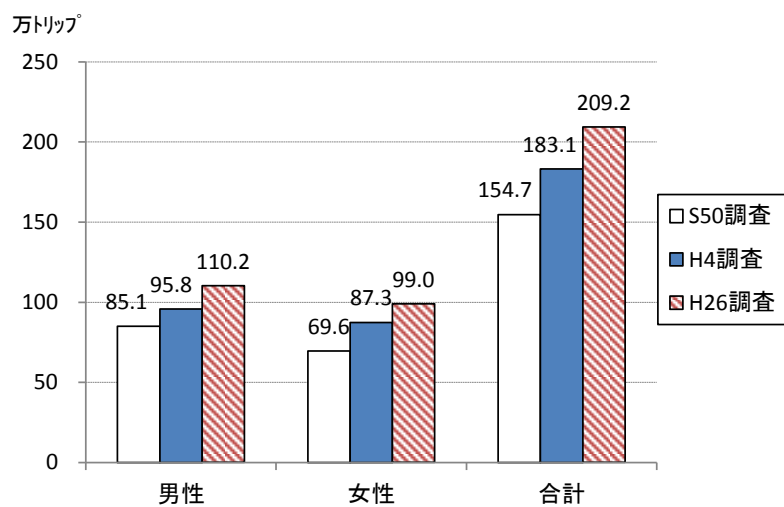
自宅 (A市) → 勤め先の会社 (B市) → 取引先の会社 (C市) → 勤め先の会社 (B市) → 自宅 (A市)

この場合、トリップ数は、4回となる。

また、「市内→市外」へのトリップは1回、「市外→市外」へのトリップは2回、
「市外→市内」へのトリップは1回となる。

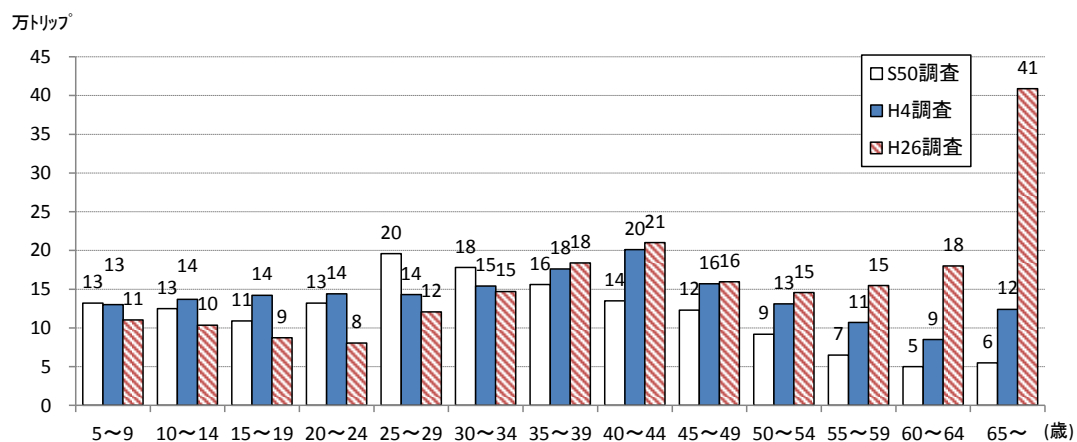
エ 性別トリップ数の推移

- 男性の方がトリップ数が多い傾向があります。総トリップ数は増加傾向ですが、今後は、人口減少、高齢化により減少傾向になると考えられます。



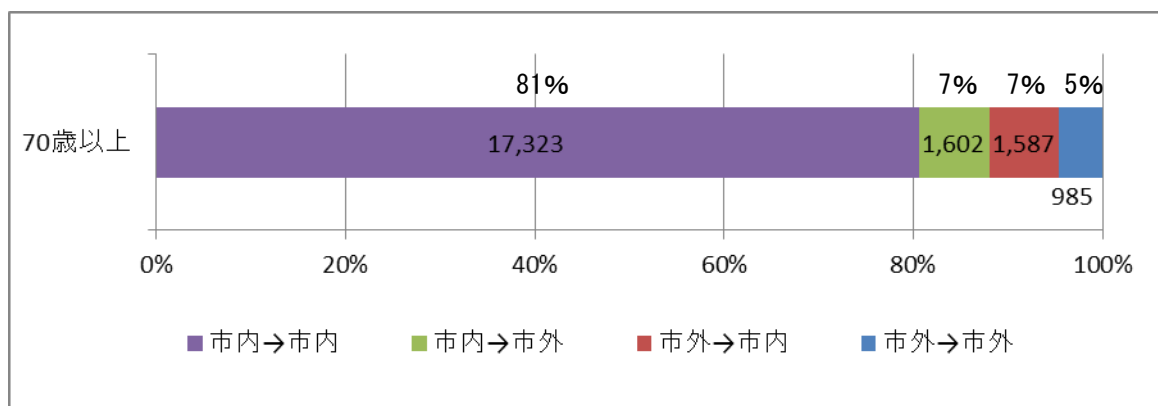
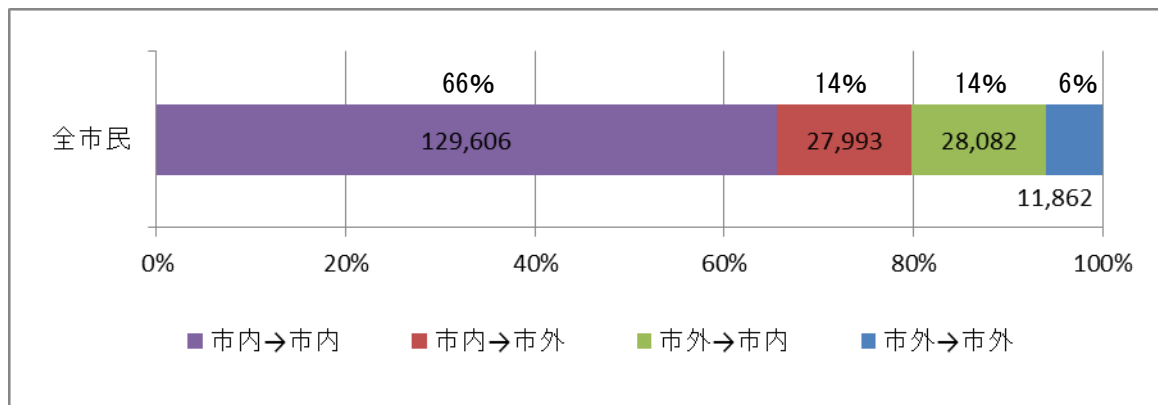
オ 年齢階層別のトリップ数の推移

- 高齢者の人口が増加していることから、65歳以上のトリップ数が増えています。



カ 真岡市民の真岡市内外トリップ数

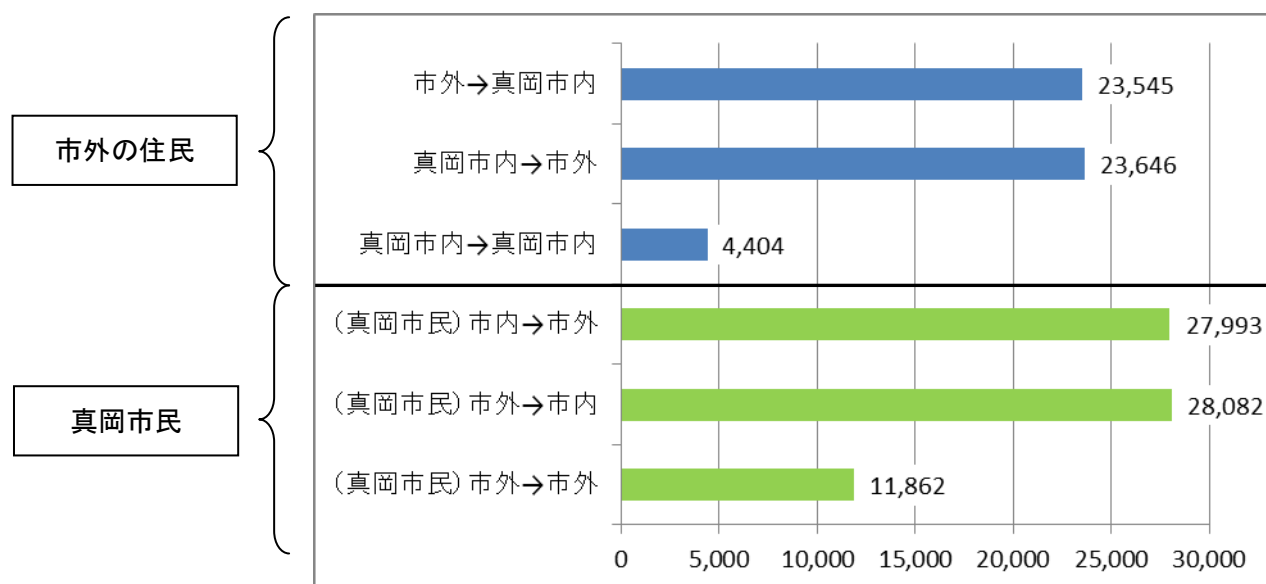
- 真岡市民の移動のおよそ3分の1が、市外への往復の移動や市外での移動となっています。
- 地域公共交通の主な利用者層である70歳以上の市民では、市外への往復や市外での移動は2割弱にとどまっています。



キ 真岡市外の住民の真岡市内外トリップ数

- 真岡市外の住民（ただし、調査対象となっている県央広域都市圏内の住民です）の真岡市への往復の移動は、真岡市民が市外へ往復する移動よりやや少なくなっています。
- 真岡市民が市外を訪れて市外で移動しているトリップ数よりも、市外の住民が真岡市を訪れて市内を移動しているトリップ数が特に少ない傾向です。
- 70歳以上になると、真岡市民が市外へ行く機会が少なくなり、他市町からの来訪の方が多くなっています。これは市外の高齢者が、真岡市内にある医療機関等を利用するために訪れている結果であると推測されます。

全世代



70歳以上

